



校長室の窓から

万寿小学校学校便り 19号

R6年8月吉日

◎万寿小学校は今年度学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）に移行します。

令和6年7月5日（金）に万寿小学校 応接室にて、第1回学校運営協議会が開かれ、委員の方々にお集まりいただき、委嘱状を伝達して、本協議会の会長と副会長を選出しました。

会長は荒木竜二様（青少年を育てる会 会長）、副会長は寺島正治様（万寿学区老人クラブ連合会 会長）、森岡正明様（万寿地区コミュニティ協議会 会長）に決まりました。

☆「学校運営協議会とは？」

学校と家庭、地域社会が連携して子どもを育てる仕組みのことで、倉敷市ではすべての小・中学校に設置するよう進められています。

☆「コミュニティスクールとは？」

学校運営協議会を設置した学校のことです。

☆「なぜ、学校運営協議会なのか？」

学校運営協議会という制度は、子どものまわりにいる地域の大人が互いに理解し合い協力し合って、自分たちの地域の子どもたちを守り、育てようとするための仕組みです。これまでも保護者と地域、そして万寿小学校はとてつなかりが強く、いろいろな教育活動を行ってきました。地域とともに、地域に根ざした教育を末永く継承し、発展させていくことを担保するため、この制度を活用していきたいと考えています。

☆「学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）のメリットとは？」

○子どもたちにとって

- ・地域住民の力や専門性を生かした教育活動（郷土学習、体験学習等）が実現し、子どもたちの学びが充実する。
- ・子どもたちが地域の特色やよさを理解し、故郷を誇りに思う、故郷を愛する心をもつことができる。地域行事に参加する子どもが増える。

○教職員にとって

- ・子どもの生活面の指導について、学校と保護者、地域住民が一緒に対処策を考え、実行することができる。
- ・地域の協力により、子どもと向き合う時間が増える。

○保護者や地域にとって

- ・学校に対する理解が深まる。
- ・保護者同士や地域の人々との人間関係が広がる。
- ・地域住民と子どもたちの関係性が深まり、声をかけたり、直接支援したりする場面が増える。
- ・災害時、緊急な対応が必要な場面においても、学校と地域が一体となり、迅速かつ組織的な対応をすることができるようになる。

☆「学校運営協議会の役割は？」

- ・学校の運営方針を承認する。
- ・積極的に教育活動に参画し、それぞれの立場から子どもたちを支援する。
- ・子どもたちや学校の課題を共有し、共に改善策を考える。
- ・熟議・協議を通して、様々な課題について、検討する。

※万寿小学校は、8月29日（木）に熟議を行う予定にしています。